



生きる力を育むために

皆様、こんにちは、改めまして2年目校長の藤本裕一です。さて、4月7日の入学式において夢と希望にあふれる新入生を迎え、7学級、生徒数123名（1年生47名、2年生30名、3年生46名）で、令和8年度がスタートしました。教職員一同、以下の学校教育目標を達成するために精一杯努力いたします。

[学校教育目標]

笑顔あふれ活力ある生徒の育成

- 自ら学ぶ生徒（確かな学力）
- 思いやりのある生徒（豊かな人間性）
- たくましく生きる生徒（健康・体力）

「笑顔あふれ活力ある生徒の育成」を目指し、生徒一人一人が、明るく充実した生活が送れる学校を創造していきたいと考えています。また、今年度も西中生が作る「弁当の日」、公民館事業「フードドライブ」活動を実践します。また、地域とともにある学校（コミュニティ・スクール）を目指してまいりますので、保護者、地域の皆様のご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

以下は、特に大切にしていきたい4点となります。

- 1 信頼を基盤とした教育活動の積極的な推進（生徒と教師との信頼関係の確立）
 - ・教育相談機能を高め、生徒理解（背景を含めた）に努める。
 - ・生徒の行動や結果を適切に評価し、具体的な改善点や助言を行い、目標達成や成長を促す。
- 2 確かな学力の向上
 - ・自律した学習者の育成を目指し、授業（ICT活用）と家庭学習の連動を図る。
 - ・総合的な学習の時間に探究活動を取り入れ、自身で設定した課題を解決させる。
- 3 生徒の確かな成長に向けた教育活動の推進（*エージェンシーを発揮する場の設定）
 - *自分と社会をより良くしようとする意志、原動力
 - ・生徒会、委員会、学級活動を通して、校則を定期的に見直したり、学校委員会（生徒会本部、専門委員長、各部部長）が主催者となって、異学年交流（レクリエーション）を企画したりする。
 - ・職場体験や御嶽山クリーン作戦、公民館のボランティア活動を通して、自らの主体性を発揮し、地域社会に貢献できるようにする。
- 4 小中一貫した教育の推進
 - ・小中合同のあいさつ運動や、一部学年との合唱発表会の実施
 - ・小中連携会議（年3回）や、教職員相互の授業参観の実施